

地域の皆様と川島ロイヤル・ワム・タウンを結ぶ広報誌

ふれ愛

NO.
138
2026.10月号

<https://www.loyal-wam-town.jp/>

『平成の森公園の秋のバラ』

Contents

移乗サポートロボットHugに関する
症例報告が学術論文誌に掲載されました

平成の森・川島病院

福守り

介護老人保健施設 平成の森

大輪の花を咲かせました

平成の森・川島病院

リハビリテーション部 夏祭り開催!!

平成の森・川島病院

夜空を彩る花火大会を開催しました

介護老人保健施設 平成の森

夏を感じる郷土料理とおやつ

介護老人保健施設 平成の森

診療受付変更のご案内

平成の森・川島病院

桶川駅送迎 バス待機場所変更のお知らせ

川島ロイヤル・ワム・タウン

移乗サポートロボットHugに関する症例報告が学術論文誌に掲載されました

平成の森・川島病院

移乗サポートロボットHugに関する症例報告が「理学療法—臨床・教育・研究」に掲載されました。「理学療法—臨床・教育・研究」は、埼玉県理学療法士会が発刊する学術論文誌です。この雑誌は、埼玉県理学療法士会会員また全国の理学療法士の臨床・研究・教育に有意義な内容を配信するため、幅広い理学療法分野に関する講座論文、学術論文、症例報告等の掲載を目的としています。論文採択までには厳しい査読がありましたが、無事に掲載されることができました。リハビリテーション部では、引き続き移乗サポートロボットHugの有用性を検証しつつ、適応となる対象者を選定していきます。また、病棟スタッフの介護負担軽減、患者様の廃用予防を目指し、対象となる患者様がいた場合は積極的に病棟での活用・普及をすすめていきます。

リハビリテーション部 森山 誠二



福守り

介護老人保健施設 平成の森



「福」を呼び込む縁起物として親しまれているフクロウ。「不苦労」＝苦労をしない、「福来郎」＝福が来る、「福籠」＝福が籠にたくさん溜まる、「福老」＝幸福で豊かに年を重ねる、「福路」＝幸福な人生になる……など、さまざまな願いが込められています。

今回は、そんなフクロウをモチーフに、オリジナルのお守り『福守り』を作りました。体の色や腹部・羽の模様、ボタンや鈴の色など、一人ひとり好きなものを選んでいただき、自分だけのお守りに仕上げました。材料選びから皆さんとても真剣で、指先を使いながら、細かなところまで丁寧に仕上げました。

たくさんの【フクロウ】が、皆さんのもとに福を運んでくれますように。

介護福祉士 松澤 結衣



大輪の花を咲かせました

平成の森・川島病院

当院リハビリテーション部では、患者様の交流機会の提供や離床促進に向けて、病棟レクリエーションを行っています。

8月のレクリエーションでは、季節の移り変わりを感じていただこうと、患者様とスタッフが力を合わせて大きな共同作品作りに取り組みました。使用した花紙の数は、なんと約1000枚！紙を「丸める担当」「貼る担当」など、皆で役割分担をしながら、声を掛け合って和気あいあいと進めました。中には、お茶を飲むのを忘れて作業に集中される場面も見られました。壁に飾るときに作品の重さに気づき苦戦しましたが、完成した作品には、患者様の笑顔と温かいコミュニケーションがたっぷりと詰まっています。

リハビリテーション部 中里 由哉



リハビリテーション部 夏祭り開催!!

平成の森・川島病院

リハビリテーション部では今年度もリハビリ室内に会場を設置して、8月7日～24日の期間で恒例の夏祭りを実施しました。

病棟での生活だけでは楽しみやメリハリも少なく季節感も感じられにくい事でしょう。リハビリ室に設置された“お祭り”の景色が、そんな患者様方の懐かしい記憶を彷彿とさせ、せめて気分だけでも“夏”を感じていただければ、楽しいひと時を過ごしていただく事ができれば、と夏祭りのイベントを体験していただいています。

会場では全てがリハビリスタッフ手作りの射的やヨーヨー釣り、スマートボールなど昔ながらの遊びを充実させており、実際に遊ばれた患者様方も笑顔で楽しまれました。また、これらの遊びに参加された皆様には、参加賞としてリハビリスタッフお手製のクラフト金魚やストラップ、お守りを差し上げており、大変ご好評を頂くことができました。

来年度以降も参加される方々が楽しめるよう、遊びの種類や参加賞を充実させていきたいと思ひます。

リハビリテーション部 星野 咲良



夜空を彩る花火大会を開催しました

介護老人保健施設 平成の森



老健平成の森では、夏の風物詩の一つとして、8月7日に花火大会を開催しました。

ここ数年、悪天候などの諸事情により中止となっていましたが、今回は2年ぶりの開催となりました。久しぶりの花火大会を利用者さまに楽しんでいただこうと、各階の職員や事務スタッフなど、施設全体で協力しながら準備を進めてきました。

当日は猛暑日となりましたが、幸いにも日が暮れる頃には幾分過ごしやすくなりました。夕食後、利用者さまを屋外へご案内し、吹き出し花火や打ち上げ花火をご覧いただきました。夜空に色鮮やかな花火が上がり、そして消えていく様子に、利用者さまからは「わあ!」と感嘆の声が聞かれ、夏の夜のひとときを楽しまれました。

お部屋に戻られる際には、「やっぱり花火はいいね」「夜風が心地よかった」など、嬉しいお声をいただきました。また、屋外に出られず施設の窓から花火をご覧になった利用者さまからも、「ここからもよく見えたよ」とのお声が聞かれ、花火を楽しまれた様子でした。

花火を通して、利用者さまに夏という季節を感じていただき、楽しいひとときを過ごしていただけたのではないかと思います。

これからも利用者さまの声を大切にし、日々の生活に季節を感じる楽しみや彩りを添えられるよう、さまざまなイベントを企画・開催していきたいと思ひます。 介護福祉士 吉野 幸男

先日、老健平成の森では、昼食に「すったて」が提供されました。「すったて」は、主にここ川島町で食べられてきた郷土料理です。冷たい味噌とごまをすり合わせ、大葉、きゅうり、みょうがなどの夏野菜を加えたつけ汁に、うどんをつけていただきます。いわゆる「冷や汁」の一種で、農作業の合間の栄養食として親しまれてきたそうです。

すったてが提供されると、「昔、お父さんがこれ好きだった」「懐かしいね、夏だねえ」などの声が聞かれ、昔の思い出を語りながら、夏を感じる昼食のひとつを楽しんでいました。また、別の日のおやつには「かき氷」が登場しました。皆さま、それぞれお好みのシロップを選び、色とりどりのかき氷を楽しんでいました。

老健平成の森では、食事も大切な楽しみのひとつと考えています。定番の献立に加え、季節の食材や郷土料理などを取り入れ、食事を通して季節を感じていただけるよう、これからも工夫してまいります。

介護福祉士 岡野 優希



診療受付変更のご案内

平成の森・川島病院

9月1日(火)より、診療受付が下記の通り変更となりました。

【月曜日～金曜日】

午前9:00～12:00(受付 午前8:45～11:30) 午後2:00～4:30(受付 午後1:30～4:00)

※金曜日 午後 完全予約制※

桶川駅送迎 バス待機場所変更のお知らせ

川島ロイヤル・ワム・タウン



8月1日(土)から、桶川駅の送迎バス待機場所が変更となりました。ご不明な点がございましたら、職員までお尋ねください。

編集後記 10月にはハロウィンがありますね!

ふれ愛10月号が発行となる10月下旬には、ハロウィンがありますね。ハロウィンと聞くと、日本ではテーマパークや商業施設での仮装を中心とした行事というイメージがあると思いますが、その起源は古代ケルト人の「サウイン祭」という秋の収穫に感謝し、先祖の霊を迎え、悪霊を追い払う意味を持つ行事とされています。この夜は、あの世と現世の境が曖昧になり、死者の霊が戻ると信じられていました。日本のお盆に近い印象ですね。私自身は仮装や関連イベントへ参加する予定はありませんが、スーパーや雑貨屋で販売されているハロウィン限定のグッズやお菓子を買って、ハロウィンの雰囲気を楽しむと考えています。皆様も、お店や街中のハロウィンらしい物を探してみると新しい発見があるかもしれませんね。リハビリテーション部 山形 満里奈

川島ロイヤル・ワム・タウン



平成の森・川島病院	電話 049 (297) 2811
ロイヤルケアホーム川島(サービス付き高齢者向け住宅)	電話 049 (299) 0880
訪問看護ステーション 平成の森	電話 049 (297) 8331
介護老人保健施設 平成の森	電話 049 (297) 8808
居宅介護支援事業所 きすな	電話 049 (297) 8797
川島クリニック	電話 049 (297) 8783